

鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	平成 29 年度第 3 回鳥羽市地域公共交通会議全体会
開催日時	平成 30 年 1 月 11 日 (木) 10:00~12:00
開催場所	鳥羽市民文化会館 3 階 中会議室
議題	1. あいさつ 2. 協議事項 事業評価について 3. その他 実績報告について ・かもめバス利用状況統計について ・定期航路実績報告について 計画推進事業について 石神さん女子マラソンについて 平成 30 年のダイヤ改正について
会議資料	【資料 1】 席次表 【資料 2】 委員名簿 【資料 3】 事業評価 (本省様式、中部様式) 【資料 4】 かもめバス利用状況統計 【資料 5】 定期航路損益計算書 【資料 6】 旅客荷物区間別実績集計表 【資料 7】 計画推進事業において実施する事業 【別添資料】 石神さん女子マラソン チラシ
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	3 人 (三重運輸支局 宇野、三重交通(株) 服部、西村)
出席委員	立花会長、加藤委員、小出委員、野間氏 (富永委員代理)、三村委員、中垣内委員、小寺広次委員、中村委員、榎委員、前田委員、今井委員、小寺兵吾委員、濱口委員、西川委員、山下委員、木下氏 (世古委員代理)、清水清嗣委員、小野氏 (渥美委員代理)、山崎委員、矢田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	板谷委員、清水豊委員、世古口委員、村林委員、岩本委員、小久保委員、東川委員
事務局	定期船課 中井、大矢
1. 開会 ○中井事務局長 ・開会 ・配布資料の確認 ○中井事務局長 それでは開会にあたりまして、本会の会長であります立花副市長からご挨拶申し上げます。 ○立花会長 みなさん、あけましておめでとうございます。本年もどうかよろしく願いいたします。委員の皆様方にはお忙しい中、第 3 回地域公共交通会議全体会にご出席いただきまして、ありがとうございます。日頃は、定期航路事業及びバス事業にご理解とご協力をいただきまして、また、交通事業の多岐にわたりご支援いただきまして、誠にありがとうございます。 さて、本日の会議は、中部運輸局へ提出します平成 29 年度の事業評価を中心にご討議いただきたいと思いますと考えております。	

また、報告事項につきましても、実績報告や計画推進事業に関することなど多岐にわたりますので、本日も何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

○中井事務局長

委員の出席、欠席について報告
新委員（前田委員）の紹介、挨拶

2. 協議事項

事業評価について

○大矢事務局員

資料3について説明

○立花会長

まず、事務局に対して私から。資料3の鳥羽市の人口減少率についてですが、95%となっているが、数字が増えている。誤りと思いますので確認をお願いします。

また、中部様式7ページ「依然として」は、削除するようにお願いします。
この事業評価について、質問、ご意見ございますか。

○小出委員

少し事業評価について補足説明させてください。別添1の様式については、本来補助制度に基づいて提出してもらいますが、補助を受けている路線しか評価できないということで、中部様式は鳥羽市にある補助を受けていない路線含めて公共交通全体を評価するものです。公共交通は、ネットワークで動いているので、全体を監視していかなければならない。中部様式は『その方がより効果的な評価ができるだろう』ということをお願いしている様式です。運輸局に出すために作成するわけではなく、鳥羽市がどういう取り組みをしているか、市のホームページ等で使っていただけたらいいかなと思います。会議が一年何をしてきたかという観点で取りまとめたいただけたらいいかなと思います。ですので5p以降の部分で特筆すべき事業等がありましたら議論をしていただきたい。そのうえで1月18日までに提出していただくということになっておりますのでよろしくお願いいたします。

○立花会長

そのあたりも踏まえて、ご意見、質問等ございますか。

○清水委員

別添1の表の離島人口減少率と利用者減少率で比較する時点が違うので合わせた方がよい。また、利用者数についても、いただいた資料では違う数字であったと思います。誤りがあると思いますので、確認された方がよいと思います。

○中井事務局長

再度、確認いたします。

○今井委員

中部様式6pのTOBAウォーク2017IN答志島を開催したということですが、開催にあたってはすぐく地元の方の一生懸命やっていただけだと思いますので、もう少し詳しい話を聞かせていただきたい。

○西川委員

T O B A ウォークというのは、健康寿命を延ばすという目標を掲げて、青峰登山をしたことに始まります。青峰登山を3年行って、今回は離島でやろうということで、答志島が適当ではないかということになりました。300名程度の参加者がありました。コースは桃取の漁協前をスタートして、漁村の雰囲気味わってもらうため、細い道も通りながらスカイラインを通り、小学校では海鮮汁をふるまいました。答志のブルーフィールドをゴールとして約8キロのコースでした。答志、和具、桃取の町内会、漁協の協力もあって、スムーズにいきました。定期船課との関わりにおいては、桃取航路と答志航路において、増便をしていただきました。帰りの答志発の増便の設定が実行委員の目論見とずれが生じまして、定時の便にあふれるほど乗ることになりまして、逆に実行委員会が予定していた便は乗る参加者がいないということになり、急遽和具まで船を回してもらい増便していただいて事なきを得ました。最後乗りあふれた10人ぐらいの人も軽乗用車で桃取港まで移送しました。全体としては、離島で行う鳥羽市のイベントに定期船を利用するというので、目的にかなっていたのではないかなと思います。

○立花会長

ありがとうございます。地域の皆様のご協力いただきまして成功のうちに終わったようでございます。

○今井委員

鳥羽市民以外の参加はありましたか。外国人はどうか。

○西川委員

市外からの参加もありましたが、外国の方はいませんでした。ほとんどが市民でした。目的としては市民向けのイベントです。

○今井委員

健康を促進するイベントとウォークが重なったということ。自分たちだけでやったわけでないということ。そういうところを書いていただくといい。ほかの事業との合体でこういうことが行われたということ書いてほしい。この書き方だとさらっとしすぎている。特に地元の方が一生懸命やってくださらないと、石神さんでわかるように、何年も時間をかけて今ここがあると思いますので、ぜひ公と民の共の活動を鳥羽はやってますよというアピールをお願いしたい。

○立花会長

答志島は漁港関連道もできましたので、歩くということも楽しみのひとつとして、来ていただける方が増えるかなと、PRになると思います。

○中村委員

中部様式の8pの情報発信多言語化のところ、インバウンドの関係で今から増えることで、外国語に対応した時刻表が現場にあればわかりやすい。鳥羽の駅だけじゃなくて、石神さんなどにもあると外国人も見やすい。その辺のところも考えていく必要があると思います。

○中井事務局長

今後の検討課題になるかもしれませんが、一番の問題は掲示場所、そのスペースになると思います。今の段階では、外国人の皆さんが持っているスマートフォンで見ていただくための、多言語化のサイトを作っております。掲示する場所がある場合については、検討していきたいと思っております。

○中村委員

社にあまり多言語が多いと日本のそういうものがおかしくなるという面もある。やるとしたら英語版のパンフレットがよいと思います。参拝される外国人も、見た目では見分けはつかず、数字はつかん

でないがかなり増えていると思う。英語版のパンフレットはつくる必要があると思います。

○大矢事務局員

検討していきたいと思います。経緯として、総合時刻表とばすまっぷは以前は日本語の他に英語版を印刷していたが、思うように利用されませんでした。今年度は予算の関係で、英語版は印刷せず、翻訳したデータをQRコードからインターネットでみられるような方法に変更しております。確かにこの変更により、印刷した英語版が欲しいという要望は他にもありますので、どのような方法で印刷ができるのか検討したいと思います。

○木下氏（世古委員代理）

中部様式6pのバスの乗り方教室についてですが、ここに書いてある数字は、開催したということではなく、市内の老人クラブは28クラブあって、2,616人は会員の総数ということでしょうか。また、開催したのは6クラブということですが、総参加人数はどこかで触れられていますか。参加人数については触れた方がよいと思います。

さらに、参加された人に対する追跡調査はされているでしょうか。利用促進していくために、追跡調査を行うことで、頑張りの目安にもなると思います。

これから利用促進で、減っていく方に対してどう働きかけていきたいのか。伸びしろがあるところに働きかけたいのかということで、2つの局面があると思います。後者について、私は、観光案内所に勤めさせていただいておりますので、お客様から苦情のある件について話をさせていただきます。定期船の周遊券については、鳥羽の港に戻ってくると終わりで4日間使えるというものだと思います。4日間回るというのは、実際お客様に聞かれると現実的には不可能なことが多い。実際にはもっと回りたいという人も多い。ですので、いったん鳥羽に戻ってきても連続であれば、他の離島に行けるというようなものでお得に複数の離島に行ければ、もっとお客様は増えると思います。私たちもそういうチケットがあれば、行きたいというお客様の背中を押すことはできると思います。周遊券の在り方について考えてほしいと思います。

最後に、石神さんにいかれる人は平日でも雨の日も多い。一日フリー券をお勧めするのですが、石神さんにくっつけて、他のプランもあるよということで、土日祝ダイヤの石鏡線で石神さんに行けるようにしていただいて、牡蠣にも行けるということ、出発時間があいてしまうとお客様も乗れないということで断念される人も多いです。便数を増やすことは難しいと思いますが、冬場は牡蠣に行かれる方すごく多いです。牡蠣、石神さんこの二つは利益を生み出すものだと思いますので、もうちょっと発展させていきたいという思いがあります。

○中井事務局長

老人会について、ここに記載してある数字は、老人クラブの会員数ということですが。開催した6クラブの参加人数については、記載していませんので、記載することを検討したいと思います。

追跡調査については、現在のところ、しておりません。事後のアンケート等考えておりますが、まだ、そこには至っていないのが現状です。

定期船の周遊券ですが、実際私どもも窓口でお客様の話を聞いておりますので、確かに不便なところもあるのかなと感じております。今後どのようにしていくのか、例えばバスのフリー券のようにしていくのかについては、検討していきたいと思います。

バスの方ですが、ダイヤ編成の話になります。ダイヤ編成にあたっては、市民の足としての役割、観光客に乗っていただく部分。両方、同等に考えていかなければいけません。ダイヤ編成の時にそのあたりは考えていきたいです。

○山下委員

先ほどバスの中で浦村牡蠣の話がありましたが、桃取でも2件が牡蠣の食べ放題をしております。それに伴って定期船の乗客数も増えていると思います。便数を増やすのは困難なのは理解していま

す。事業評価の滞在時間が長くても見どころのある地域づくりと書いてあるが、結局車で来た方は駐車場に止めて、滞在時間が長くなると駐車場代がかさんでくるのでその辺も考えてほしい。以前は、定期船代は高いと思っていたが、自分たちが旅行に行った時、他の値段を見ると桃取440円は自信をもって高くないと言える。日間賀島は千円以上する。それでも駐車場代がかさんでしまうのはなんとかならないかなと思う。

○立花会長

市内の観光業から同じような要望はいただいております。ただ、管理するにもお金がかかっていますので、現在は1時間を無料にしておりますが、それを拡大するとすると、公社の経営にも関わってきますので、慎重に検討していかなければいけないと思います。

○今井委員

その話を聞いて思ったんですが、車で来ないで、鉄道で来て定期船に乗るというパック旅行をもっとアピールしたほうがいいと思います。公共交通で牡蠣を食べに行けば、お酒が飲める。そこをアピールしてほしい。公共交通を使って、おいしくて、楽しい時間を過ごせるような企画作りが必要。ただし、そうすると地元の方がどれだけ頑張るかが重要。大変なことだと思うが、自分の地域の魅力を地元の方がアピールしなければならない。誰かがやってくれるものではないと思います。

○山下委員

実際に、桃取では近鉄とタイアップしています。まわりゃんせのようなイメージです。一人でいくらという値段設定になります。車で来る場合、1人で来ても4人の家族で来ても交通費がほとんど変わらない。そうすると車で来る方が安い。バスで50人ぐらいの観光ツアーですと、定期船の時間と合わずにチャーター船を利用する形になっていてもったいない。バスが遅れた場合の事を考えると、定期船に乗れないので難しいところもありますが。

○木下氏（世古委員代理）

バスについて、実際に足が悪い母をバスに乗せて移動したことがあったが、ステップの高さがあり、もう乗りたくないと言われた。低床バスの導入は考えていませんか。

定期船について、鳥羽市内の人が離島に行ったことがないという話を聞く。その人たちに一度でも離島に行ってもらうために料金を割引するのは魅力的だと思います。鳥羽水族館が冬場だけ市民が無料になる企画を行っています。同じように市民に対してこの期間内であれば、片道だけ無料にして帰りは自分で切符を買っていただく。これだと半額になります。いままで陸続きの場所で宴会をしているのを、離島で牡蠣を食べてみようか、老人会の親睦会を離島で開いてみようかという風にもなると思います。それにより交流も生まれますし、離島に行った鳥羽の人が他の地域でもPRしてくれることも考えられます。

○今井委員

いいアイデアですね。

○中井事務局長

現在、定期船課内で検討していることですが、定期船の無料乗船会を開きたいと考えています。鳥羽の日に合わせて、1便か2便、昼の時間帯に双胴船を使ってやりたいなと思っています。

○今井委員

それは乗るだけですか。食べるという楽しみを引っ付けておかないと乗りたいという風にならない。

○中井事務局長

定期船が動いている合間をぬって行いたいと考えているので、他とのタイアップまでは手が回らないと思います。定期船を知ってもらうために一度はやってみたいと思います。

○西川委員

T O B A ウォークでは、乗船料は実行委員会から出したので、参加者は無料でした。市内の方が始めて離島に行きましたという参加者の声がありました。それがヒントかなと思います。

フリーの船は一隻ですか。船舶検査にいくとそれがなくなるのですか。

○中井事務局長

そうです。

○西川委員

周遊券を活用しようと思うとフリーの船があって、それを活用することで、一日で4島周れると考えています。そこに桃取の牡蠣であるとか、それぞれの離島の文化財を引っ付けられれば十分採算はとれると思います。内回り、外回りの時はゆっくり滞在できないというデメリットがありました。結局宿泊してまでもそれを利用するというのがなかなかない。一日で周ってくるというのであれば、一隻フリーの船があればと思います。

○中井事務局長

予備船は一隻あります。基本的に検査時やトラブル時のためにお客さんに迷惑にならないようにすぐに代替できるように待機しているというのが、予備船の役割ですので、ご理解いただきたいと思います。

○大矢事務局長

先ほど質問のありました、低床式のバスについてですが、いつ変わるかはわかりませんが、車両を更新すると低床式に変わっていきます。逆に心配しているのは、車両が低床式に変わると、起伏が激しい道路では運行ができなくなるので、建設部局と道路についての話をする必要があると思っています。

○今井委員

バスに乗るための免許返納者への対応について、警察署にバス停を設置するということが前回でいりましたがどうなりますか。また、中部様式8pに返納者に対してサービスを行うと書いてありますが、これは市として何かするということですか。

○中井事務局長

警察署前のバス停については、平成30年4月から新設する方向で考えています。

免許返納者への対応ということですが、ここで実施中となっているのは、乗り方教室を開いているということで実施中とさせていただいております。もうひとつは、新たに返納された方に、三重交通のようずっと半額というようなことではなく、一定期間、例えば3か月や半年、無料にできないかと考えています。というのは、返納された方は新たな顧客になると思います。ずっと半額は財政上無理ですが、一定の期間無料になれば、そのあと顧客として十分増えていくのではないかと考えている最中でございます。

○今井委員

そういうことも書いてもらうといいと思います。

○立花会長

まだ最中ですので、書きにくいと思います。

○今井委員

バス停を警察署前に作るのは決まったのですか。書いてもらった方がいいと思います。

○立花会長

バス停についても現時点では決定したことではないので、書きにくいと思います。

○前田委員

警察としては、運転経歴証明書を千円の手数料で発行できます。身分証の代わりになります。ただ、自然に有効期間を切らしてしまった方や処分を受けた人に関しては、証明書が発行できません。自主返納された方のみが対象です。

○榎委員

発行していただいても、身分証明書ぐらいにしかないということですね。

○加藤委員

運転免許返納に関しては、いろいろなサービスも増えてきているので、ただ身分証明書となるだけではないです。

○前田委員

警察としては身分証明書として、以前免許証を持っていたという証明を行うだけになります。それを示していただくと割引をしてくれるところもあるということです。

○加藤委員

高齢者への乗り方教室などで、例えば鳥羽市ではどこでどんな割引があるのかのリストを作って渡してもらおうといいですね。他の市町村では千円の手数料を補助するということをしているところもあります。割引については、永久に無料だとかやっているところもありますが、それはもともと持っていない人や失効した人、以前に返納した人からすれば不公平だと思います。最初は思い切って返納しようと思わせることが大事。三か月ぐらいは試して半額や無料にすることで返納に対する垣根が低くなるのでやった方がいいと思う。ずっと無料というのは、あまりよくない。やはり払ってもらわなくちゃならない。

今日、鳥羽バスセンターに行ったのですが、とてもガランとしている状態でした。全国的にバスターミナルがどういう状態になっているかというと、バスターミナルからいろんな路線でいろんな場所に行けますよと、パンフレットがずらっと並んでいる。例えば石鏡だったらこんなところがありますよ。牡蠣が食べたい人はこちらと書いてある。とると牡蠣がここで食べられる。そのためにはこのバスにのったらいいと書いてある。場合によっては、行きたいとなれば窓口にもっていくと、切符と行った先の食べる券が一緒になって買うことができるってことが全国的にできています。そうすると鳥羽駅で降りた時に、バスセンターやマリナーミナルまで来ると、いろんな行先のいろんな面白いところの案内があるから、そこで選んでどこか行くというのもいいのではないですかということですね。

例えば宮崎交通だとバスターミナルに100以上そういうパンフレットがあって、見ているだけでも楽しい。目的地を決めちゃうと2時間待たなければいけないが、案内がそれくらいあると目的地を決めてなければ直近で行けるところに行こうとか、きまぐれで選んだり、石神さんともう一か所どこにしようとかを選べる。要するに皆さん行った先の案内と行き方は別々に調べない。一番大事なのは何したいか。交通機関は後から出てくる話なので、バスセンターなどでも、あなたこうしませんかというパンフレットを作ってほしいなと思います。

宮崎の場合はバス会社を作っていますが、鳥羽の場合はそれぞれの自治会で作ってはどうかと思います。自分のところはこういうところが売りだから、来てもらうために、そのためにはこのバスのればい

い、この船乗ればいいという風に、できればセット券ができればいいと思いました。

交通機関はそれ自体が乗ると楽しくなければならぬ。中には乗るだけで楽しい人もいますがそれは少数派。多数の人は乗り物自体も楽しいけどそれよりも食べるのが楽しいとか、いい景色を見るのが楽しいとか人と話をするのが楽しいことが重要。そっちの方を前面に出して、ここへ来たらそういうことができますよ。一番簡単なのは窓口でセット券を買えばいいと思う。

確かに鳥羽の定期船は安いと思います。全国の船のなかでは絶対定期船は安いと思いますので、それ自体を売りにしてもいいと思います。バスや鉄道と比べたら高くなる。だけど船でしかいけないし、お値打ちに感じる。もちろん生活航路としては、もっと安くしてほしいとなりますが、たまに来る人に対してはむしろ安いんだというPRをするといいと思います。ほんとうにどのくらい安いのか一度調べてほしい。

○山崎委員

調べてみます。

○加藤委員

調べてみて、安いことが立証出来たら宣伝としていいと思います。

あと生活の方から言うと、離島の方が船に乗って何をするかということ提案してあげるといいと思います。今ならハローが多いですかね。

○中井事務局長

そうですね。

○加藤委員

ハローは定番ですけど、それ以外にもこんなところがあるよ。それはバスを乗り継いで行けるよということをもっと紹介することを考えたほうがいいと思う。これから移住定住やっていこうとしたら、移住定住してくる人は、もともとは本土の人。当たり前なのが島にいとできなくなる。そういうことを島の人にはアピールできないかもしれないが、粘り強くやっていくと島から子供達がでていくのを防げるかもしれない。船とバスを一体として取り組んでいるのは、全国の他ではほぼやっていない。そういうアピールをするようお願いしているところですが、具体的に何かということなんです。普通の離島に比べれば、よっぽどやれることが多いと感じさせるようにするにはどうすればいいのかということ、観光客向けのパンフレットと同じように、離島の人向けのパンフレットも作っていかねばいけないと思います。

もう一つ、今日バスセンターに行ったのですが、津なぎさまちの表示がありませんでした。中部空港への船からのアクセスのバスがあるのですが、表示がありませんでした。

セントレアから鳥羽に来られる方が、どのくらい使われるかを考えた時に、そういう調査していますか。

○三村委員

バスの乗車人員はわかりますが、セントレアからどういった交通機関使って来たかはわかりません。

○加藤委員

セントレアから航路を使って、バスに乗り継いで鳥羽までいける。これを一つの定番としなければならない。鳥羽バスセンター降りたら、さきほどの話のように離島や地域の魅力が紹介されている。そういうことがSNSで出てくれば、加速度的に来る方は増えると思います。インバウンドの方はバスを使う人が多い。乗り換えより直接行けた方がよい。鳥羽バスセンターで存在がわからないというのはまずいので、公共交通会議でもどうやってそれをPRした方がよいのかはやった方がいいと思う。バスセンターは修正しておいてくださいね。

○三村委員

しておきます。

○西川委員

今、初めて知りました。1日2便ですか。

○濱口委員

津からですか。PR不足ですね。

○加藤委員

津なぎさまちから鳥羽まで。PRしていない。しかしバスは専用車で、車両には伊勢神宮は書いてあるけど鳥羽は書いてない。

○三村委員

もともとは伊勢止まりであったが、鳥羽まできている。

○加藤委員

せっかく鳥羽まで来ていただいているので活用しないとったいない。

○山下委員

車でなぎさまちの駐車場に止めると不用心という話も聞く。

○加藤委員

もちろん市内の人が利用するにもよいと思います。

もう一点。お酒はポイント。車で行くとお酒は飲めない。公共交通で行くとお酒は飲めるのは売りにしていいと思う。バスと温泉と酒というのは相性がいいと思います。「飲んだら乗るな、飲むならバスだ。」
「バスでバス（風呂）」

ファミリーの話がでました。欧米だと、ファミリーチケットというのがあって大人2子供2人で1.5人分の運賃しかとらない。車だと1人でも4人でも同じ値段なので。4人乗って1人分の運賃は安すぎるので1.5人分。欧米では公共交通は福祉だから行政が出しています。日本ではまだ商売なのでそこまではできない。みんな家族で動くわけではなく、これからは一人で気楽に行きたい人が多いので、そういう人こそ公共交通で移動すれば割安でお酒も飲める。こういうのを売りしていくのがいいと思います。無理に全員バスとか電車に乗せる必要はない。家族の人は車で来た方が安いので車でこられればいいし、電車、バスが好きなお子さんがいれば、電車、バスに乗ってもらって楽しんでもらえばよい。

(他に意見なし)

○立花会長

ありがとうございます。いろいろご意見いただきましたので、事務局の方で修正する点は修正させていただいて、そのうえで事業評価を中部運輸局へ提出することについてご承認いただける方は挙手をおねがいします。

(挙手全員)

○立花会長

ありがとうございます。挙手全員でございます。それでは事務局で修正したのち、中部運輸局へ提出いたします。

3、その他 報告事項

○立花会長

続きまして、事項書3、その他 実績報告について事務局より報告いたします。

○大矢事務局員

(資料4について報告)

○立花会長

事務局からかもめバスの利用状況について報告がありましたけど、ご意見等はございますか。

(意見なし)

○立花会長

続きまして、定期航路事業の実績報告を事務局からいたします。

○大矢事務局員

(資料5、6について報告)

○立花会長

事務局から定期航路事業の実績について報告がありましたが、ご質問等ございますか。

○今井委員

損益計算書の費用の減のところで大口団体の減と書いてありますが、何かあったのですか。

○大矢事務局員

この数字はクーポン券の手数料の金額です。大きな流れとして増えているとか減っているということはありませんが、昨年度大きなものがあったのがなくなった。誤差の範疇ですという意味です。

○立花会長

よろしいですか。

(他に意見なし)

それでは、計画推進事業について事務局より報告いたします。

○大矢事務局員

(資料7の報告)

○立花会長

ご意見等ありますか。

(意見なし)

続きまして、石神さん女子マラソンについて報告いたします。

○大矢事務局員
(別添資料について報告)

○立花会長
中村委員、よろしければ追加で報告をお願いします。

○中村委員
エントリーの状況ですが、ハーフマラソンが260人。10kmが260人。2.2kmが130人。合計650人でいったん締め切りましたが、追加で募集をかけており、目論見としては1,000人ぐらいを考えておりましたが、熊野の方でマラソンが重なってしまって少し減ってしまったと思います。生活道路、観光道路を使わせていただくということで、非常にご迷惑をおかけすると思いますのでご理解とご協力をよろしくをお願いします。

○野間氏(富永委員代理)
バスセンターにチラシが張ってありました。表面が複数貼ってありましたが、交通規制と市営バスの案内の書いてある裏面が貼ってなかったので、裏面についても掲示していただくようお願いします。

(他に意見なし)

○立花会長
続きまして、ダイヤ改正について事務局より報告いたします。

○中井事務局長
(近鉄のダイヤが大きく変わらないため、定期船はダイヤ改正しない方向。バスは警察署前を新設することから改正することを考えている。改正については2月に公共交通会議を開きたい旨報告。)

○中村委員
バスのダイヤ改正について、地域の方からの要望もでていきますので、ハローに入る便を一便でもいいので考えていただきたい。

○大矢事務局員
その方向で検討したいと思います。

(他に意見なし)

4. 閉会

○立花会長
平成29年度第3回鳥羽市地域公共交通会議全体会の議題について、全て終了しました。それでは会議の進行を事務局に戻させていただきます。

○中井事務局長
本日は忙しい中どうもありがとうございました。これにて第3回鳥羽市地域公共交通会議全体会を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。